

「跳ぶ運動」

【ねらい】

- ・運動の時間のルールを知り、守りながら活動することができる。
- ・跳ぶ運動を楽しみ、最後まで活動することができる。
- ・用具に合わせた跳び方を知り、跳ぶことができる。

【学習の流れ】

1.課題とめあての確認をする。

2.ポイントの確認

- ・縄をよく見て入る ・中心で跳ぶ ・一直線に走りながら跳ぶ ・目印を頼りに踏み切る

3.いろいろな跳び方の活動に取り組む。

【低学年】

- ・じぐざぐジャンプ ・みんなと一緒に ・遮断機くぐり ・縄走り抜け(回転なし・回転あり)
- ・ゆうびんやさん ・大波小波 ・よこへび たてへび など

【中・高学年】

- ・8の字跳び ・むかえ8の字跳び ・全員跳び など

※上記の中から、児童の実態に応じて教員が選択して行います。また、実態に応じて内容を変更して行うこともあります。

4.振り返りをする。

①活動の感想を発表する。

②今日学んだことを、クラスでどのように活かせるかを考えて発表する。

担任の先生・保護者の皆様へ

後期の指導がスタートして3週間が経ちました。夏休み期間中の生活から切り替え、疲れが始める頃かと思えます。特別支援教室ではお子さんの体調を考慮しながら、運動が好きな子も苦手な子も、子供たちが楽しんで活動に参加できるように、支援しています。今週の小集団活動では、跳ぶ動きを中心に学習を行いました。跳ぶ運動に苦手意識のある児童に対しては、基本的な跳び方を指導したり新聞紙を使った楽しめる活動を取り入れたりしました。自分のタイミングで跳ぶことができても障害物を跳び越えて着地することや他人が回している縄にタイミングを合わせて跳ぶことなど、跳び続けることに対して苦手意識を感じる児童は多くいます。子供たちが跳ぶ運動に自信を付け、抵抗感なく活動できるようにサポートしていきます。